



はつかくこうじ 議員
さんむ 八角公二

小中学校の統廃合計画の見直しについて

問 市長は成東中学校と成東東中学校について、統合の時期や場所は平成31年度中に決めると答弁していますが、その進捗状況について伺います。

答 市長 成東中学校の老朽化と、今後両校とも生徒数の減少が見込まれるため、成東中学校と成東東中学校の統合という方向性では、教育委員会と共通認識を持っています。

問 成東中学校と成東東中学校は統合をする方向でいるとのことですが、市長は「学校の統廃合計画は見直しをする」と公約しています。また、総合教育会議において、市の教育方針・教育大綱を定めることにもなっています。成東中学校の学区内では統合に反対する人が多く、このような地域住民の意見をよく聞き、適切な運営をする事が、地方教育行政では、求められています。

す。市長は対話集会などを開き、市民の皆さんからの意見を聞く考えはあるのか伺います。

答 市長 成東中学校と成東東中学校の統合について理解を得られていない方々がいると感じています。平成31年度中に決めるということで、少し時間を頂いて、対話集会なども含めてしっかりとやっていきたいと思っています。



統廃合が検討されている成東中学校

さんむ医療センターについて

問 さんむ医療センターの夜間の救急患者受け入れの現状について伺います。

答 保健福祉部長 山武郡市内の二次救急医療については輪番制になっており、さんむ医療センター、大網病

院、高根病院、九十九里病院、浅井病院、東千葉メディカルセンターの6病院が対応しています。毎日、午後5時30分から翌朝8時30分まで、内科系および外科系のそれぞれの当番病院が、地域住民の救急医療にあたっています。さんむ医療センターでは年間、内科では24日、外科では174日を受け持っています。看護部分の体制がなかなか整わない現状のため、来年度の内科の日数は24日を予定したいとのことです。

問 緊急事態があったときに、元の病院で受け入れてもらえるのは、市民にとって一番安心なことです。病院の建設問題も関係してくるため、輪番制も含めて救急患者の受け入れ体制を整備して頂けないか伺います。

答 市長 確かにさんむ医療センターの輪番制は数字的には非常に少ないと感じています。昼間の救急受け入れは増えていますが、夜間については輪番制で、その配分は会議で決定しています。今後、ご指摘の視点を持って取り組むよう話をしていきたいと思えます。

問 東金市の東千葉メディカルセンターでは医師数が増え、診療についても充実を図っています。また、成田市にも新しい病院ができると、経営方針によっては患者の奪い合いになり、

経営が悪化することも考えられます。地域の医療環境が変わりますが、その対応策についてどう考えているのか伺います。

答 市長 東金市には東千葉メディカルセンター、また、成田市には新しい病院ができることで、医療環境が変わってきています。全体的に高齢化になり、開業医の先生方も高齢化しています。さんむ医療センターを今後どうするかについては、このような医療環境の変化に対応した病院をつくっていく、建設していくという方向が必要だという判断で、今、進めています。執行部としても、将来に向けて、しっかりとした病院をつくるために、議員の皆さんに報告、相談等をさせていただきます。



地方独立行政法人 さんむ医療センター